

第8回 ジョイントシンポジウム参加報告書(2017/2/19~21, 中興大学, 台湾)

鹿児島大学

多田 尚美

今回、自分の中で印象深かったことは、なんといってもシンポジウム 2 週間前に判明したポスター発表からオーラル発表への変更です。これまで英語での口頭発表の経験はなかったため、大和先生をはじめとして、職場の方々、知り合いの帰国子女の方等、本当にたくさんの方に助けられました。

当日は他の学生の発表を聞き、上手な発表がいくつもあり、自分の番がくるまで本当に緊張しました。異なる分野でも、発表が上手だと、楽しく聞くことができます。研究をする上で、他人に知ってもらうこと、興味を持ってもらうということはとても大事なことでと思いますので、アウトプットする力、プレゼンテーション能力というのは重要なものなのだと身を持って体感しました。今回の自分の発表は、決して花まるの内容ではなかったけれど、発表が終わって席に戻った際に、隣に座っていたソウル大学の木村教授から（教授はすべての経緯を知っていたようで）、「2週間前からよく頑張ったんじゃない」と声をかけて頂きました。

本当に準備期間はつらかったですが、大変だった経験も苦勞も含めて、今度は準備万端でリベンジしたいと思えたので、最終的には、ポスター発表ではなく、口頭発表でよかったと思うことができました。こんなことはもう勘弁してほしいと思う反面、踏み出すチャンスを与えていただきありがたかったなと思います。タイトスケジュールでしたが、発表が終わった夜は、中興大学の学生に案内をしてもらい、ナイトマーケットを楽しみました。他の大学の方との交流も醍醐味ですので、もっともっと交流ができればよかったなと思いました。

